

鈴鹿 釈迦ヶ岳(1091m) 松尾尾根ピストン

2015年1月11日(日)

メンバー：磯部S(リーダー)、ふじ、ヤマメ、磯部N、小池N、手塚、古橋、宮本

前夜出発し、2時間で仮眠場所「道の駅こもの」に到着。・・近い、圧倒的に近い。これで日帰り雪山が経験できるなんて、やっぱり鈴鹿は好きになってしまう。

翌朝、登山口まで15分。これまたグッドだが、早々良いことばかりではなかった。

朝明溪谷駐車場手前の登りが、部分的だが2、3箇所凍結していた。

スケートリンクのようなつるつる路面は、スタッドレス四駆でさえも制御不能に陥る。慎重にクリアし、部分的に除雪してあるトイレ近くの駐車場に駐める（ちなみに次の機会には、ここが仮眠場所か）。



ここだけ除雪してある駐車場

最近使われるルートは中尾根が多いらしいが、地元の友人に聞いたところ、昔ながらの松尾尾根のほうが景色も良いということで道路を20分ほど下り、そこから取り付く。

最初はなかったが、直に雪が出始めた。うれしいことにトレースがない！昨日も入山してないなんてラッキーだ。

しばらくツボ足でガシガシ行くが斜度も部分的に有ったりして、積雪以上に雪を楽しめる。ワカンやスノーシューを装着し、交代してラッセルした。
とてもここが伊勢湾まで1時間弱、標高1000M弱とは思えない。



急勾配のラッセル！

支尾根上に到達すると、傾斜も緩み楽になった。しかも樹氷はバツグンだ。しばらく景色を楽しみながら進むと中尾根への分岐だ。
しかしここにもトレースがなかった。こんなすばらしい日曜日に鈴鹿に来ないなんて、なんてもったいない！！



御在所岳方面を遠望



見事に発達している樹氷。美しい・・・

風もそこそこ出てきたが、快適。ただ時間はかなりかかっていた。大蔭のコルへの下りは岩と氷の初心者にはちょっと気を使う場所。

ワカンからアイゼンに履き替えて通過。そこから少し登り返して、再びラッセルするも深く、時間切れとなり撤退を決める。

雪がなければここまで 2 時間かからない位だが、5 時間半かかってしまった。



撤退だけど充実感のあるみんなの顔（といっても誰が誰だか・・・）



左前方に開けた四日市と伊勢湾。最高の景色。

下りは青空と樹氷、四日市の街と伊勢湾を眺めながら、心広くなるような気持ちの良いルートであった。とても年始にふさわしい。
やっぱり毎年、年明けは鈴鹿に来たくなるものだ。
この気持ちにふさわしい、あつあつの雪上コーヒータイムの為に下からお湯を持ち上げ、みんなでゆったりとした時間を過ごした。

尾根から登山口に向かってしっかりトレースの付いた来た道を一気に下り、道路に降り立つ。
雪が多いといってもここは四日市、標高は低い。昼間に気温は上がり、すっかり雪も氷も溶けていた。

<タイム> 朝明 P (7:40) - 登山口 (8:05) - 大蔭のコル (13:30) - 登山口 (16:20)
- 朝明 P (16:50)

(磯部 S 記)

以上